

事務事業チェックシート

事務事業No 198 事業名 障害福祉事務電算化推進事業

[長期総合計画]

分野別目標	5	その他
政策	3	業務改革の推進
施策	3	質の高い行政サービスの提供
取組方針	1	質の高い行政サービスの提供

事業種別	継続	
事業期間	～	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画	和歌山市障害者計画	
担当課・担当課長 (Tel)	障害者支援課	西 喜彦 (435-1060)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		民生費	
	項		社会福祉費	
	目		身体障害者福祉費	
	大事業		身体障害者福祉事業	
事項		障害福祉事務電算化推進事業		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	福祉総合システムにより各種申請、給付事務を円滑にし、障害のある人の福祉の向上をはかる。	身体障害者及び知的障害者の個人情報の入出力及び管理				
実施内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		コンピューターを本体として、個人基本情報システムをもとに身体障害者福祉法、知的障害者福祉法等に関する福祉事務を電算化し事務の効率化、省力化を推進し市民サービスの向上を図る。福祉総合システムにより各種申請・給付事務を電算化する。身体障害児者数 17,753人 福祉総合システムリソース化・医療福祉システムリソース化・ノートパソコンリソース化	コンピューターを本体として、個人基本情報システムをもとに身体障害者福祉法、知的障害者福祉法等に関する福祉事務を電算化し事務の効率化、省力化を推進し市民サービスの向上を図る。福祉総合システムにより各種申請・給付事務を電算化する。身体障害児者数 17,307人 福祉総合システムリソース化・医療福祉システムリソース化・ノートパソコンリソース化	コンピューターを本体として、個人基本情報システムをもとに身体障害者福祉法、知的障害者福祉法等に関する福祉事務を電算化し事務の効率化、省力化を推進し市民サービスの向上を図る。福祉総合システムにより各種申請・給付事務を電算化する。福祉総合システムリソース化・医療福祉システムリソース化・ノートパソコンリソース化	コンピューターを本体として、個人基本情報システムをもとに身体障害者福祉法、知的障害者福祉法等に関する福祉事務を電算化し事務の効率化、省力化を推進し市民サービスの向上を図る。福祉総合システムにより各種申請・給付事務を電算化する。福祉総合システムリソース化・医療福祉システムリソース化・ノートパソコンリソース化	コンピューターを本体として、個人基本情報システムをもとに身体障害者福祉法、知的障害者福祉法等に関する福祉事務を電算化し事務の効率化、省力化を推進し市民サービスの向上を図る。福祉総合システムにより各種申請・給付事務を電算化する。福祉総合システムリソース化・医療福祉システムリソース化・ノートパソコンリソース化

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	6,741	5,439	6,825	6,688	6,729	5,727	3,723		3,926	
伸び率 (%)	-	-	1.2%	23.0%	▲1.4%	▲14.4%	▲44.7%	▲100.0%	5.5%	-
人件費	正規職員	2,302	2,487	2,484	2,526	2,484	2,426	2,484	2,484	2,484
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	2,302	2,487	2,484	2,526	2,484	2,426	2,484		2,484	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源 (税等)	6,741	5,439	6,825	6,688	6,729	5,727	3,723		203	
所要人数 (人)	正規職員	0.31	0.33	0.33	0.33	0.33	0.32	0.33		0.33
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0		0
主な予算内訳	機械等借上料3,723千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
			目標値	実績値	達成度 (%)	目標値	実績値	達成度 (%)
成果指標	処理件数		19,800	20,621	104.2%	19,800	19,800	
			19,800	20,514	103.6%	19,800	20,934	105.7%
			19,800	20,934	105.7%	19,800	19,800	100.0%
活動指標			19,800	19,800	100.0%	19,800	19,800	
			19,800	19,800	100.0%	19,800	19,800	100.0%
			19,800	19,800	100.0%	19,800	19,800	100.0%

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実	/			
	現状維持	/		○	/
	縮小	/		/	/
	廃止	/		/	/
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	福祉総合システムにより各種申請、給付事務を円滑に処理するため、現状を維持し継続して行いたい。
見直し・改善内容	